

みずほCustomer Desk Report 2024/01/30 号 (As of 2024/01/29)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	148.28
TKY 9:00AM	148.17	1.0843	160.66	1.2698	0.6577
SYD-NY High	148.34	1.0855	160.76	1.2718	0.6616
SYD-NY Low	147.26	1.0796	159.43	1.2662	0.6570
NY 5:00 PM	147.49	1.0833	159.80	1.2709	0.6611

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,333.45	224.02	日本2年債	0.0500%	0.0100%
NASDAQ	15,628.04	172.68	日本10年債	0.7200%	0.0100%
S&P	4,927.93	36.96	米国2年債	4.3201%	▲0.0350%
日経平均	36,026.94	275.87	米国5年債	3.9853%	▲0.0522%
TOPIX	2,529.48	31.83	米国10年債	4.0749%	▲0.0634%
シゴ日経先物	36,160.00	215.00	独10年債	2.2380%	▲0.0580%
ロンドンFT	7,632.74	▲2.35	英10年債	3.8735%	▲0.0920%
DAX	16,941.71	▲19.68	豪10年債	4.2220%	▲0.0270%
ハンセン指数	16,077.24	125.01	USDJPY 1M Vol	8.42%	0.23%
上海総合	2,883.36	▲26.87	USDJPY 3M Vol	9.08%	0.05%
NY金	2,025.40	8.10	USDJPY 6M Vol	9.29%	▲0.06%
WTI	76.78	▲1.23	USDJPY 1M 25RR	▲1.10%	Yen Call Over
CRB指数	270.88	▲2.69	EURJPY 3M Vol	8.65%	0.03%
ドルインデックス	103.61	0.18	EURJPY 6M Vol	9.09%	▲0.08%

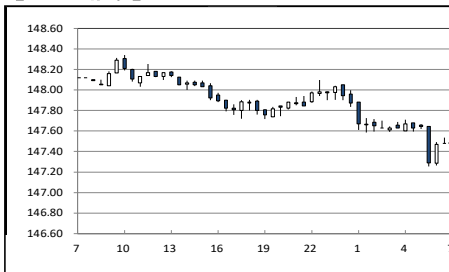
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月30日	00:30	米 ダラス連銀製造業活動	1月 -27.4	-11.0

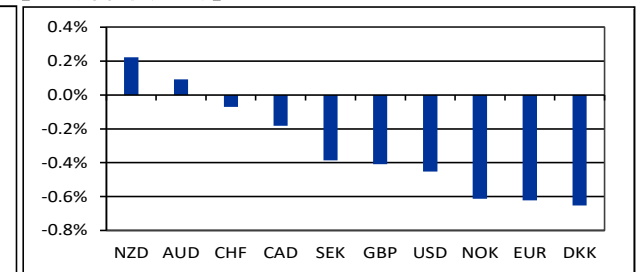
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月30日	09:30	豪 小売売上高(前月比)	12月 -1.7%	2.0%
	18:00	独 GDP(前期比)・速報	4Q -0.3%	-0.1%
	19:00	欧 消費者信頼感・確報	1月 -	-16.1
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)	4Q A -0.1%/0.1%	-0.1%/0.0%
1月31日	00:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	1月 114.5	110.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.80-148.60	1.0700-1.0950	158.50-161.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は日本時間に148円台まで上伸した。その後北米時間でも再度148円台に乗せたものの、終わってみれば高値圏での重さを確認した、といった様相になっており、近いようで遠い150円が見えたと言って差し支えないだろう。

本日のドル/円はFOMC、週末の米雇用統計を前にして、方向感の出ない展開を想定。昨日のように上値では売られる一方で、下値も攻め辛いだろう。本日欧州時間ではユーロ圏GDPの発表を控えている。リスクは利下げ期待の強まりからのEURダウンサイドか。

東京	東京時間のドル円は148.17レベルでオープン。仲値付近ではドル買い優勢の展開となり148.34まで上昇したが、その後すぐに失速。方向感に欠ける展開が続き、148円台前半でレンジ推移。引けにかけては米金利の低下を横目に水準を切り下げ、147.92レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.92レベルでオープン。動意なく推移し、ほぼ変わらずの147.97レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0844レベルでオープン。週末のECB理事の発言がハト派的だったと捉えられてかユーロは軟調。1.0814まで売られ1.0822レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は148円台前半でスタート。実需の買いに伴い、148.34まで上昇するも、その後は米金利が低下する動きが重しとなり、147.70付近まで反落。その後は徐々に値を戻し、147.97レベルでNYオープン。午前中は米金利が低下する展開に追随し、147.59まで値を下げる。午後は米財務省が発表した第1四半期の借入必要額が下方修正された事を受け、147.26まで売られる。その後は下げ渋り、小幅反発し、147.49レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。デビッド・スティーヴンソン副総裁が「ユーロ圏のインフレと成長率は下振れリスクに直面している」との見方が嫌気され、独金利低下に伴い売りが優勢となり、1.0822レベルでNYオープン。午前中は引き続き売り地合いとなり、1.0796まで続落。午後は米金利における一段の低下が支援材料となり、終盤にかけて1.0840まで反発し、その後1.0833レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 田川・鈴木